

地域がん診療連携拠点病院

＜川崎市立井田病院からのお知らせ＞

第50号 井田山



基本理念 「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、市民が安心してかけられる病院づくりを目指します。」

《新任院長あいさつ》

井田病院院長 橋本 光正

このたび4月1日付けで長秀男前病院長の後任として病院長に就任いたしました。責任の重大さを痛感するとともに地域の皆様や職員の信頼に応えられるよう精一杯努力する覚悟でいます。

さて、川崎市立井田病院は川崎南部医療圏の中核病院として開設以来65年にわたり診療を続けてまいりました。川崎市内で唯一の結核病床を有する病院であることや、平成10年からは緩和ケア病棟を設置しターミナルケアを推進し、在宅医療にも力をいれるなど、ほかの病院とは違った特色のある病院として医療活動を展開してまいりました。一方、眼科や皮膚科、歯科口腔外科などの常勤医が不在のため患者さんにはご不便をおかけしてまいりました。しかし平成24年の新棟オープン以来、このような診療科の医師も常勤として迎えることができ、より強力な診療体制ができつつあるものと考えております。

平成26年度末には現在工事中のⅡ期工事が完成し、現在より病床も約90床増加し、外来化学療法室も10ベッドから20ベッドに増加、救急外来部門の完成などさらに充実した医療が提供できると思います。

今後とも地域完結型の医療を目指し、病診連携、病病連携に力を入れていきながら、患者さんにとっては「安心してかけられる病院」、職員にとっては「働きやすい病院」を皆様方とともに作っていきたいと考えております。今後のご支援とご協力を心よりお願いし、就任のご挨拶とさせていただきます。



家族性腫瘍相談外来を始めます！！

川崎市立井田病院ではこの度、がんの遺伝カウンセリングを行う「家族性腫瘍相談外来」を開設いたしました。当院では遺伝の専門家である臨床遺伝専門医により遺伝性のがん(家族性腫瘍)の詳しいリスク評価を行い、適宜遺伝子検査を行うことも可能です。がんの発症リスクを知ることにより、がんの予防、早期発見、治療選択、家系全体の健康管理に役立てて頂けることを目指しています。

がんは普通、非常に多くの要因(喫煙や食事などの生活習慣、体質的な要因、環境要因など)が複雑にからみあってできると考えられています。ただしある遺伝子変異が、ある種のがんを引き起こすといった遺伝と特定の癌との強い関連が知られています。

具体的にはご家族の一方の家系の中に(母方または父方)、

- ・がんにかかった人が特に多い(目安として3人以上)
- ・若くして(目安として50歳未満)がんにかかった人がいる
- ・何度もがんにかかった人、様々な部位にがんができた人がいる

このような場合には、ご自身にがんにかかりやすい体質が受け継がれている可能性があります。



家族性腫瘍相談外来では「自分はがん家系ではないか」という不安をお持ちの方に、まずご親族の詳細な家族歴をお聞きし、家系図を作成し家族性腫瘍の可能性を評価します。家族性腫瘍であることが強く疑われる場合、その病気について詳しい情報をご提供します。また診断を助けるために遺伝子検査をご提案することもあります。検査を強制することはございません。遺伝子検査を受けられて病的変異がわかった場合、その後のがんの発症に不安を感じる方は少なくありません。ご本人の今後について、計画的ながん検診など必要な検査や予防的治療について情報を提供し、適切な検査・治療計画をご提案します。当院において定期的なフォローアップを受けて頂くことが可能です。

さらに加えて、家族関係、結婚、出産、就職、保険加入などについても難しい悩みが出てくることも少なくありません。これらの問題をきちんと整理・理解し、ご自身で最善と考えられる決定を下すために、遺伝カウンセリングの専門家に相談することができます。お話しづらい内容もあるかと思いますが、プライバシーに配慮し、個人情報については厳密に管理しております。遺伝子検査のメリット・デメリットはありますが、ご自身にとって、がんの発症リスクを正しく知り、ご自身とご家族のがんの早期発見などの健康管理に役立てることができることが、遺伝カウンセリングの最大のメリットだと考えられます。患者様おひとりで悩まずに、一緒に考えていけるようお手伝いさせて頂きたいと思っております。

【家族性腫瘍相談外来の受診方法】

まずはお電話でお問い合わせください。詳しいパンフレットや受診方法、問診表などをお渡しさせて頂きます。家族性腫瘍相談外来は完全予約制で自費診療となります。受診される方は必ず、事前に予約をして頂きます。

(婦人科 植木有紗)

《認定看護師の紹介 Part. 4》 看護部主任 前田奈緒美(透析看護認定看護師)



CKD(慢性腎臓病)患者さんは、220万人を超えるといわれており、透析療法を行っている患者さんも30万人を超える数となっています。残念ながら腎機能疾患は、完全に治すものではなく悪化の転帰をたどることが疾患の特徴とも言えますので、適切な治療を必要としています。

正しい疾患への理解をする事により、疾患が悪化する速度を遅くするためのCKD外来や、生活や身体状況に応じた適切な透析治療を選ぶための腎代替療法選択外来を透析センターのスタッフや外来看護師とともに行っています。CKDから透析に至る末期腎不全といった腎機能を患っておられる患者さんが、よりその人らしい療養が行える為の支援と、対応するスタッフが疾患を理解しよりよい療養環境を作ることを目指しています。

発行責任者 神山 隆 編集 川崎市立井田病院 広報委員会
川崎市中原区井田2-27-1 電話 044-766-2188 (代)
ホームページ

<http://www.city.kawasaki.jp/33/cmsfiles/contents/0000037/37855/ida/index.html>

